

第4回 吉備国際大学 地(知)の拠点シンポジウム

# だれもが役割のある 活きいきした地域の創成

参加費  
無料

会場



## 吉備国際大学

高梁キャンパス 7号館 711教室  
南あわじ志知キャンパス C棟 3F 大講義室  
※両キャンパスをTV会議システムで結び同時開催

開催日時

2017. **2.17** [金]  
13:00-16:10 [開場 12:30]

プログラム

- 13:00-13:05 開会挨拶 吉備国際大学 学長 眞山 滋志
- 13:05-13:15 来賓挨拶 高梁市長  
南あわじ市長
- 13:15-13:25 評価委員紹介
- 13:25-13:40 「南あわじ地域を中心とする  
植物病原菌の薬剤耐性モニタリング」  
地域創成農学部 地域創成農学科 教授 石井 英夫  
地域創成農学部 4年 川崎 智典 4年 佐野 永暁
- 13:40-13:55 「地域小学校での体力向上プランを通した  
学生の育成に関する考察  
～教員志望学生の実践力及び意識に着目して」  
心理学部 子ども発達教育学科 講師 高田 康史  
子ども発達教育学科 4年 古屋 孝治 3年 文箭 大夢
- 13:55-14:10 「魅力ある農畜水産物直売所を目指して  
～美菜恋来屋への期待と今後の課題～」  
地域創成農学部 地域創成農学科 教授 加古 敏之  
地域創成農学部 4年 松岡 優司
- 14:10-14:20 休憩
- 14:20-14:35 「保健医療福祉領域の連携学習  
～合同演習の効果と課題～」  
保健医療福祉学部 作業療法学科 准教授 岩田 美幸  
作業療法学科 3年 白川 智章 3年 福田 摩耶
- 14:35-14:50 「ナルトオレンジ ～香気分析と食品開発～」  
地域創成農学部 地域創成農学科 助教 金沢 功  
地域創成農学部 2年 濱本 成吾
- 14:50-15:05 「高梁カフェの物語(ナラティブ) - イラスト表現とともに」  
アニメーション文化学部 アニメーション文化学科 教授 清水 光二  
アニメーション文化学部 2年 丹下 祐貴
- 15:05-15:20 「地域在住高齢者を対象とした  
介護予防支援活動を通じた学生教育  
～学部教育 & 卒後教育のシステム構築～」  
保健医療福祉学部 理学療法学科 准教授 佐藤 三矢  
理学療法学科 3年 河鱒 陽菜 卒業生 西井 大貴
- 15:20-15:35 質疑応答
- 15:35-16:05 評価委員講評
- 16:05-16:10 閉会挨拶 吉備国際大学 副学長 保積 功一

本学は地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的とした平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に申請し採択されました。

吉備国際大学と岡山県高梁市、兵庫県南あわじ市の地域住民の皆様が協力・連携して、地域課題を解決していく本事業の取組を発表し共有を図る機会として、本シンポジウムを開催します。

【主催】吉備国際大学 【後援】高梁市・南あわじ市



# だれもが役割のある 生きいきした地域の創成

2017. 2. 17 [金] 12:30 開場 13:00 開会 16:10 閉会

参加費  
無料

吉備国際大学 高梁キャンパス 7号館711教室  
南あわじ志知キャンパス C棟3F大講義室

発表取組代表者 & プロジェクト



地域創成農学部  
地域創成農学科 教授  
**石井 英夫**  
Hideo Ishii

## 南あわじ地域を中心とする植物病原菌の薬剤耐性モニタリング

近年、我が国で最も重要なイネいもち病でQol剤(ストロビリリン系薬剤)に対する耐性菌が各地に広がり、薬剤の効果が低下して本病が多発しています。また、イネ紋枯病菌のQol耐性菌もアメリカで報告されています。そこで、南あわじ地域ほかから採集したイネ紋枯病菌や類縁菌のQol剤感受性を調べました。また、同地域で発生するタマネギ灰色腐敗病菌やキャベツ菌核病菌などについても薬剤耐性菌の発達がどうかを調査しました。これにより、南あわじ地域における農作物生産の安定に寄与することを目指します。



心理学部  
子ども発達教育学科 講師  
**高田 康史**  
Yasufumi Takata

## 地域小学校における子どもの体力向上4事業に関する 教員志望学生の実践力及び教員意識向上に関する研究

本取組は、児童の体力向上をねらいとする高梁市立川上小学校と吉備国際大学子ども発達教育学科の連携によるものです。川上小学校における体力向上事業において、本学学生が実施案の企画から学校現場での実施まで携わりました。小学校教諭を目指す学生にとって、大学の講義(座学)で得た理論や方法論を実際の学校現場で活かせる貴重な体験の場となりました。また、これまでの本学科では、未就学児(幼稚園児・保育園児)との交流事業の中で実践的教育カリキュラムとしてその成果見られてきたものの、小学校児童との交流事業の機会は比較的乏しい状況でした。そこで本取組では、川上小学校との体力向上事業における連携を通じ、小学校教員を目指す学生の実践力及び教員意識の向上を目指すことを目的としています。



地域創成農学部  
地域創成農学科 教授  
**加古 敏之**  
Toshiyuki Kako

## ファーマーズマーケットと六次産業化の調査及びコープ教育の調査

米国をはじめカナダ、オーストラリア等諸外国に普及しているコープ教育(Cooperative education)について、米国や日本における先進事例の調査を行い、地域密着型のコープ教育のプログラムを充実させ、食農関連産業の発展と地域の活性化に貢献できる専門的知識と技術を備えた有為な人材の養成を目指します。また、地域農業の振興や農村活性化方策として近年注目を浴びているファーマーズマーケットや農業・農村の六次産業化についても、先進事例の調査を踏まえて考察し、行政、農協、農家、市民らと情報交換や意見交換をすることにより、具体的な提案を行っていきます。



保健医療福祉学部  
作業療法学科 准教授  
**岩田 美幸**  
Miyuki Iwata

## 保健医療福祉領域の連携学習の研究

保健医療福祉領域の実践現場は、多職種によるチームでの取組が不可欠になっています。その技能の養成において高等教育機関では、多職種の役割やそれぞれの職種の専門性を理解し、退院支援や地域支援に結び付いた実践展開が主流となっています。そこで本取組は、保健医療福祉学部(4学科:理学療法、作業療法、看護、社会福祉)による「合同演習」授業(集中授業形式)の内容の充実を図り、連携教育の手法を学び取ることで専門職業教育の発展を目的としています。合同演習後には、各学科の実践者による講義を全学科生がともに受講し、多職種連携の実状を具体的に学ぶことを可能にしています。



地域創成農学部  
地域創成農学科 助教  
**金沢 功**  
Ko Kanazawa

## 淡路特産「ナルトオレンジ」の六次産業化に向けた総合研究

淡路島の固有種であるナルトオレンジは、担い手不足による栽培面積の減少、周辺環境の悪化や害獣による被害などにより、絶滅の危機にさらされています。そこで本取組では、ナルトオレンジの将来の品種育成につなげることを目的に、遺伝資源の保護や栽培状況の把握、加工品の開発など六次産業化における喫緊の課題等に取り組み、ナルトオレンジの生産量(消費量)の拡大と、それによる地域農業の発展可能性について研究を実施します。



アニメーション文化学部  
アニメーション文化学科 教授  
**清水 光二**  
Koji Shimizu

## 高梁カフェの物語(ナラティブ)ーイラスト表現とともに

高梁市が観光都市として発展していくためには、市外からの来訪者に対して、徒歩および公共交通機関による市内移動を支援し、観光資源の活用と地元経済の活性化に寄与する技術とコンテンツが重要になります。本研究では、文献・実地調査による市内移動を支援する基盤的な情報技術の選択を行うとともに、市内移動の具体的な検討のため、アニメの聖地や名所旧跡等の市内観光拠点を回遊するとともに、商店・飲食店等の利用を促進する回遊支援システムの基本仕様を設計します。この回遊システムにおいては、回遊を動機づける物語(ナラティブ)が欠かせないので、このコンテンツの基本的構想も併せて設計します。この回遊システムとコンテンツの設計に、学生を関与させることで、アニメやゲーム制作に欠かせない物語づくりと情報技術の基礎的な知識と技能の習得を目的としています。



保健医療福祉学部  
理学療法学科 准教授  
**佐藤 三矢**  
Mitsuya Satou

## 地域での健康教室

超高齢社会にある日本では、地域高齢者を対象とした教室による健康寿命の延伸が非常に重要です。そこで本取組では学生と教員とが協力し合い、地域在住の高齢者を対象として「健康寿命延伸に視座した教室の開催と運営」に取り組んでいます。学生にとって、貴重な「体験の場」や「実践的な学びの場」になっています。

## 文部科学省 地(知)の拠点整備事業 【大学COC(Center of Community)】

本事業は、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的とした事業です。平成25年度は、全国の大学・短大等から319件の申請があり、選定されたのは52件(内私立大学は15件)でした。

本学は、岡山県高梁市・兵庫県南あわじ市の2つのキャンパスを有しており、地域と連携しながら、共通する課題を、それぞれの持つ教育・研究分野の特徴を活かすことで、単独ではなしえない「シナジー効果」を生むことによって地域課題の解決を図り、生きいきした地域社会を創成することを目的としたテーマで採択されました。

## アクセス & マップ

学校法人 順正学園 吉備国際大学  
**高梁キャンパス**  
〒716-8508  
岡山県高梁市伊賀町8

(アクセス詳細説明等)  
■お車で越しの方  
質欄IC下車後、約30分  
■公共交通機関ご利用で越しの方  
JR岡山駅～JR備中高梁駅～吉備国際大学  
※JR備中高梁駅～吉備国際大学区間は、徒歩約20分です。  
市内循環バスもご利用できます。  
運賃は160円です。

**会場**  
7号館  
711講義室

学校法人 順正学園 吉備国際大学  
**南あわじ志知キャンパス**  
〒656-0484  
兵庫県南あわじ市志知佐礼370-1

(アクセス詳細説明等)  
■お車で越しの方  
西淡三原IC下車後、約5分  
■公共交通機関ご利用で越しの方  
・JR舞子駅からバスで約50分  
(「陸の海西淡」下車すぐ)  
・JR徳島駅からバスで約60分  
(「西淡志知」下車すぐ)

**会場**  
C棟3階  
大講義室

## お問い合わせ先

吉備国際大学 地域連携センター  
高梁キャンパス  
Tel:0866-22-9050 Fax:0866-22-9407  
南あわじ志知キャンパス  
Tel:0799-42-4708 Fax:0799-42-4812  
HomePage <http://coc.kiui.ac.jp> E-mail [kiui-coc@kiui.ac.jp](mailto:kiui-coc@kiui.ac.jp)